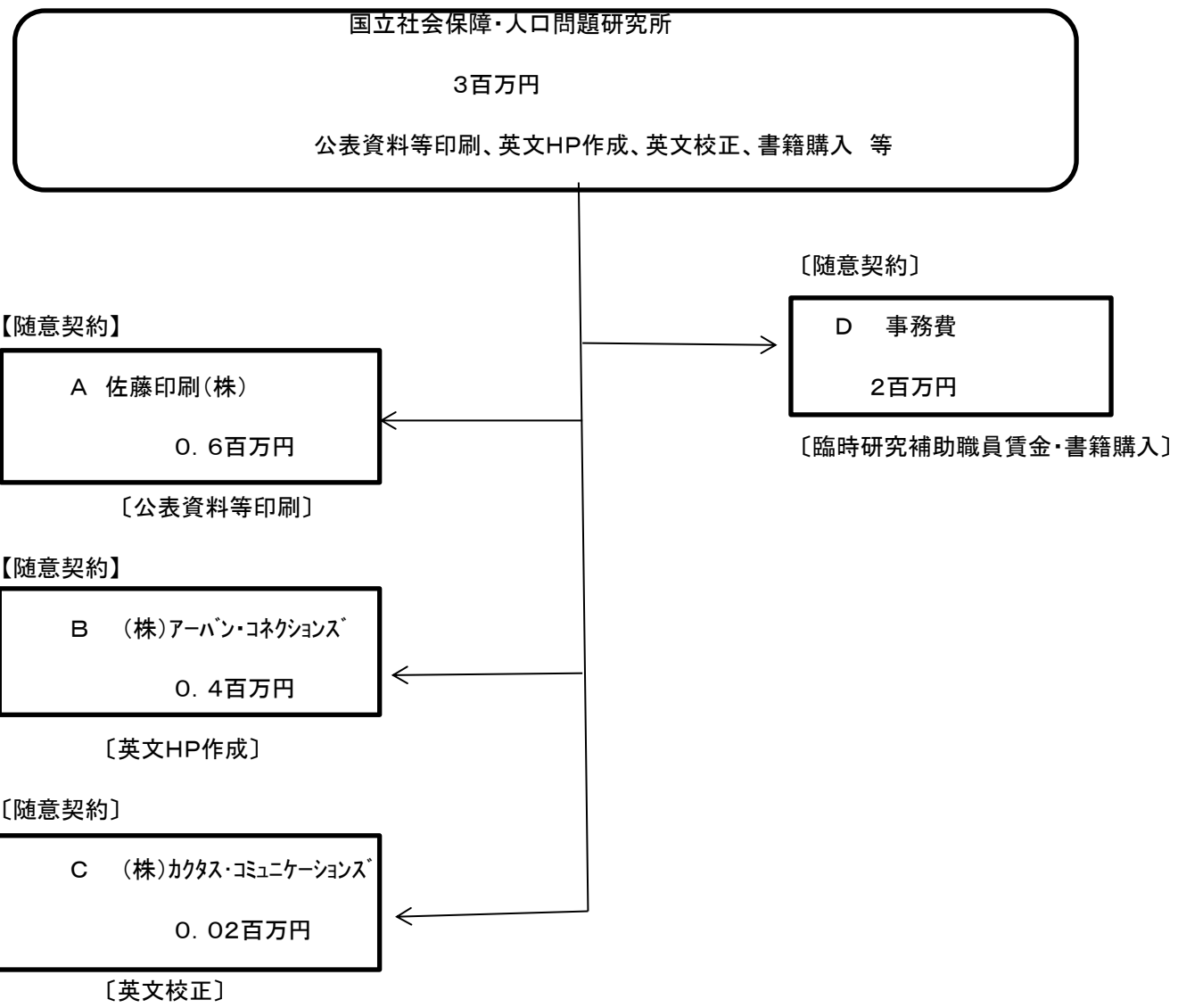


平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	社会保障情報・調査研究費			担当部局庁	国立社会保障・人口問題研究所		作成責任者	
事業開始年度	平成8年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課		越路 幹男	
会計区分	一般会計			政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各種の国際基準に基づき、毎年度の社会支出総額や政策分野別データの集計及び国際比較分析を行うとともに、社会保障給付費総額や機能別・制度別データ及び財源データの集計を行い、併せて、過去からの時系列データの整備を行うことを通じて、我が国における社会保障制度の現状やこれまでの推移、国際比較の動向を示す基礎的なデータを提供する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OECD基準に沿った社会支出総額及びGDP(国内総生産)に対する比率、政策分野別にみたデータなどの集計及び国際比較</li> <li>・ILO基準に沿った社会保障給付費総額や機能別(高齢、障害、保健医療などの区分)、制度別(年金、医療、介護などの制度区分)にみたデータ及び財源データの集計</li> <li>・過去からの社会支出及び社会保障給付費等に関する時系列データの整備</li> </ul>							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	3	3	3	3		
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	3	3	3	3	0		
	執行額	3	3	3				
執行率(%)	100%	100%	100%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	外部委員により構成される当研究所の平成27年度の研究評価委員会において、総合評点3.5点以上を得ること。	研究評価委員会の総合評点をもって成果指標とする。(5=特に優れている、4=優れている、3=良好、2=やや劣っている、1=劣っている)	成果実績	点	4.5	4.6	4.5	
		目標値	点	3.5	3.5	3.5	3.5	
		達成度	%	129%	131%	129%		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	集計結果の作成・公表(毎年)	活動実績	件	1	1	1		
		当初見込み	件	1	1	1	1	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	執行額/結果の公表回数	単位当たりコスト	百万円	3	3	3	3	
		計算式	X/Y	3百万円/1回	3百万円/1回	3百万円/1回	3百万円/1回	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	試験研究費	3						
	計	3	0					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	毎年度の社会支出集計とともに、社会保障給付費及び財源データの集計を継続的に行う事業であり、過去からの時系列データの整備を通じて、我が国の社会保障制度の現状や推移を示す基礎的データを提供している。その成果は、各種政策立案の基礎資料等として活用されており、国際比較を行う上でも特に重要な公的統計と位置づけられていることから社会的意義があるものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	上述のとおり、国の責任において実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	社会保障費用統計として基幹統計指定されたこともあり、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	契約金額が少額のため、見積合わせの実施により競争性を確保している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	見積合わせにより競争性を確保しており、単位当たりのコスト水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	真に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業で集計したデータは、研究所のホームページにも掲載し、各種政策立案の基礎資料等として活用されており、事業の実施方法は適切である。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みに見合ったものである。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	本事業における「社会保障費用統計」の集計は、国際比較を行う上で特に重要な基幹統計と位置づけられており、「厚生労働白書」や「高齢社会白書」はもとより各種審議会の資料でも多く引用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	平成26年度の研究評価委員会において、「国立の研究所における基本的なミッションに密接に関わる重要な事業であり、一層の展開を期待する」との評価を頂いており、事業そのものの必要性は高い。平成26年度の執行についても、予算額と同額程度の執行額であり、適正であると言える。			
	改善の方向性	効率化を進展させるべく、入札や見積合わせを導入してきたが、今後も同様の方法でこれまで以上に事業の効率化を図り、効果的な執行を実施することとする。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	617	平成23年度	558	平成24年度	495
平成25年度	877	平成26年度	877		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	B.			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.臨時研究補助員			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	賃金	臨時研究補助員賃金	2			
	計		2	計		0

#### 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	佐藤印刷(株)	公表資料印刷	0.2	随意契約	-
2	佐藤印刷(株)	報告書印刷	0.3	随意契約	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アーバン・コネクションズ	英文HP作成	0.4	随意契約	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	カクタス・コミュニケーションズ(株)	英文校正	0	随意契約	-

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	臨時研究補助員	臨時研究補助員賃金	2	-	-
2	(社福)友愛十字会友愛書房	書籍購入	0	随意契約	-
3	(株)ぎょうせい	書籍購入	0	随意契約	-